令和7年度　北九州市立緑丘中学校　学校経営方針

《学校教育目標》

未来を切り開く「生きる力」を育む生徒の育成

《育成をめざす資質・能力》

知「確かな学力」・徳「豊かな心」・体「健やかな体」

〈具体的な生徒像〉

○「知」＝　自ら考え、正しく判断し、進んで学習や諸活動に取り組む生徒
○「徳」＝　思いやりの心をもち、協力し合って集団生活の向上に努める生徒
　　「時を守り、場を清め、礼を正す」の励行
○「体」＝　健やかな心とからだをもつ生徒

〈今年度の重点目標〉

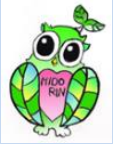
①「確かな学力・健やかな体を育成する」
②「心の育ちを推進する」
③「意欲を高めて子どもの特性を伸ばし、社会に貢献できる人材を育成する」
　ことに生徒の安全に配慮しつつ重点的に取り組み、「信頼される学校づくり」を推進する。

〈重点目標達成のための具体的な取組〉

重点①　確かな学力・健やかな体を育成する
○組織的・計画的な学力・体力向上の研究と取組
○学習指導要領に沿った「指導と評価の一体化」と、信頼性・妥当性のある学習評価の実施（授業力の向上）
○家庭と連携した生活習慣、学習習慣等、「学びの基盤づくり」の充実

重点②　心の育ちを推進する（いじめ・問題行動の抑止と迅速・確実な対応）
○自己実現を目指す積極的な生徒指導の推進
　・組織的な生徒指導体制の確立と積極的な生徒指導の推進
　・他者を思いやる心の育成や規範意識の醸成
　・共感的な生徒理解に基づいた学級づくりの推進（計画的な集団づくり）
○確かな人権感覚を育み、人権意識の高揚を図る人権教育の推進
　・人権尊重の精神に基づく、一人一人を大切にした学級づくりの推進

重点③　意欲を高めて子どもの特性を伸ばし、社会に貢献できる人材を育成する
○すべての生徒に対する特別支援教育の推進
○望ましい勤労観・職業観を育成するキャリア教育の推進
○掃除の励行、あいさつ、正しい言葉遣い
○ＩＣＴ活用能力の育成と読書活動の充実

〈信頼される学校づくりの推進〉

○小中一貫・連携教育の推進（教員の合同研修・児童生徒交流・「９年間の活動プラン」）
○学校評価（自己評価と学校関係者評価）による取組の振り返りと充実
○緑丘中学校区地域学校協働事業（地域・保護者等との連携）
○ＰＴＡ行事や地域行事への無理のない参加による保護者・地域との連携
○tetoru や学校ホームページ等による情報発信
○効果的な家庭訪問による家庭との連携強化 、生徒・保護者・地域に対する「親切・丁寧」な挨拶と対応